



'93倉敷「芸術の春」

第7回

倉敷音楽祭

1993年3月20日(土)祝 ⇒ 3月28日(日)

ずっと、そっと、
あたたかな人の心で、満たされた街でありますように。



GUIDE BOOK
THE KURASHIKI
VOL.7

あなたと創る **Creating Together** **三菱自動車**
三菱自動車の新しいイメージです。

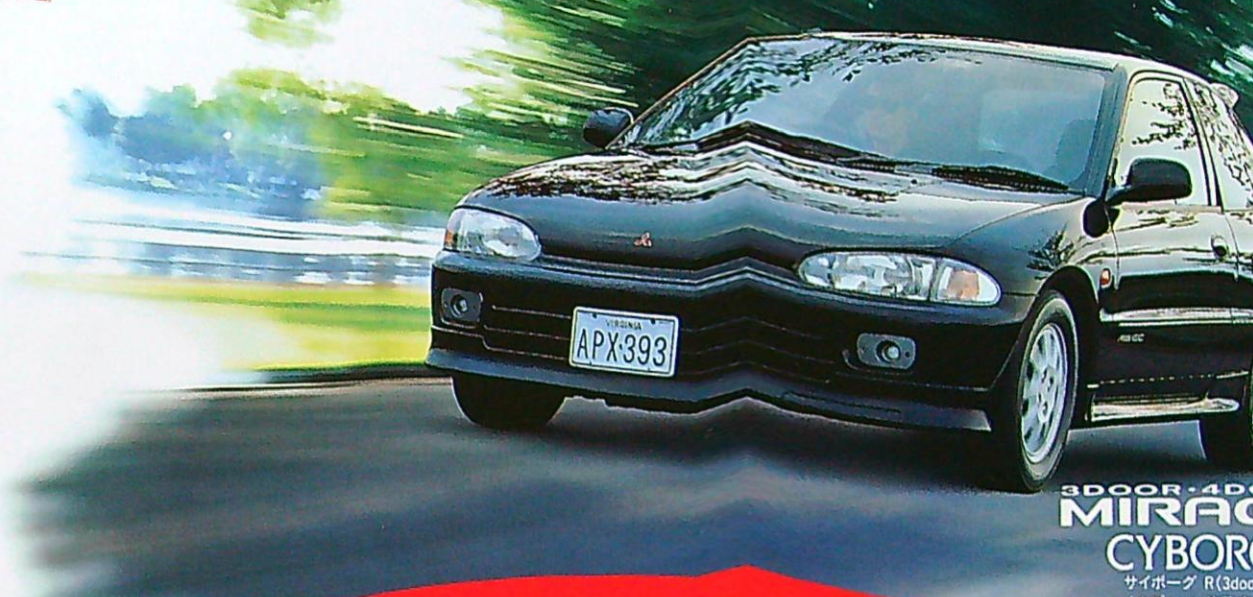
世界に、また、ふたつ。

1600クラス^{*1}世界最強175馬力で16km/ℓ^(10・15モード燃費)の低燃費を実現したマイベックエンジンを新開発。世界初1600V6に続き、'93年型ミラージュ&ランサーがまた世界基準を変えた。

*1 1600ccクラス量産、無過給エンジン。('92年10月1日現在)

*2 ミラージュ4ドア&ランサー MIVEC MDエンジン搭載5M/T車

10・15モード燃費は運輸省審査値。
(最高出力表示はネット値)



3DOOR・4DOOR
MIRAGE
CYBORG
サイボーグ R(3door)
(オプション装着車)

1600クラス世界最強マイベック エンジン

MIVEC 搭載

高性能&低燃費。全域ダイレクトレスポンス。

175馬力/7500rpm。1600クラス世界最強のスペックをもつマイベックエンジンが、いままでにない走りを生んだ。全域ダイレクトレスポンス。敏感に、強く、速く。どこまでも伸び続けていく走り。さらにMIVEC MDエンジンは10・15モード燃費^{*2}16.0km/ℓという低燃費を備えて新登場。走る歓びをみたく高性能と地球にやさしい低燃費を高次元で両立。これが、マイベックの走りだ。(最高出力表示はネット値)

*1 1600ccクラス量産、無過給エンジン。*2 MIVEC MDエンジン搭載5M/T車。(運輸省審査値)



LANCER MR
MR(オプション装着車)



この走りがクラスの常識を変えた。
世界初1600 V6 DOHCエンジンを搭載したミラージュ&ランサー。滑らかな走り、驚くほどの静粛性が、クラスの常識を変えた。

MIRAGE 6 & LANCER 6

いつも新しい走りをプレゼンテーションする。

MIRAGE & LANCER

シートベルトをしめて、スピードをひかえめに。安全運転は三菱の願いです。

●ランサー1800GSRの豪快4WDに4A/T車登場。

●ランサーエボリューション(グループA仕様車)が、'93WRC(世界ラリー選手権)に挑戦します。

倉敷音楽祭

C O N T E N T S

Number 7 1993 3.20~28

Greeting

ごあいさつ	2
倉敷音楽祭組織役員紹介	3

Opening

オープニング	4
--------	---

Program

街角コンサート	4
CEREMONY & ENTERTAINMENT 3/20<祝>~3/28<日>	
③/20 NHK交響楽団「金管五重奏」	10
倉敷管弦楽団と350人で歌う大合唱オラトリオ「森の歌」	12
③/21 東京バッハ・モーツァルト・アンサンブル	16
イルカコンサート in '93 倉敷音楽祭	18
③/22 加藤登紀子コンサート 時には昔の話を	20
③/24 S.プレコードコンサート & 公開講座「音楽と音の科学」	22
③/23 倉敷音楽祭祝祭管弦楽団コンサート	23
倉敷音楽祭祝祭管弦楽団メンバープロフィール	26
③/25 鈴木雅之コンサート FAIR AFFAIR	32
③/26 津軽楽奏団「KAZE」	34
ミュージカルオペラ「うたよみざる」	36
③/27 安倍圭子マリimbaコンサート	38
倉敷音楽祭祝祭管弦楽団・究極の室内楽シリーズVI	40
サタデー・イヴニング・コンサート	42
③/28 サンデー・マチネー・コンサート	44

News

オープン間近「倉敷市芸文館」	46
----------------	----

Information

倉敷音楽祭各会場のご案内	55
倉敷音楽祭を支援する会入会のご案内	56



■スタッフ紹介

編集発行人：倉敷音楽祭を支援する会

Director：佐藤博道

Assistant：平野素子

Designer：小郷恵子

Copy Writer：株式会社エディターズ

Special Thanks：倉敷市文化振興財団

Cover Design：株式会社ポートベロ

ごあいさつ



倉敷市長
渡邊 行雄



倉敷市文化振興財団
理事長 三浦 朱門



倉敷音楽祭を支援する会
理事長 鴨井 利郎

白壁と蔵に象徴されるここ倉敷に、恒例となった倉敷音楽祭が、今年も盛大に幕をあけます。

私は、「夢のある倉敷」の実現を目指して、市政の重要な施策の一つに「世界にはばたく文化都市づくり」を掲げ、市民文化の振興に努めております。

倉敷は、先人達が営々と築き上げてきた独特の情緒豊かな歴史的町並みや、質の高い伝統文化を誇り、市民の日常生活の中に培われてきた自由を求める気風と新しい発想が、本市の文化の発展に大きく貢献してきたと確信しております。

このような市民をはじめ、多くの人々に支えられて、第7回目を迎えた倉敷音楽祭も今や春の一大文化イベントとして定着してまいりました。特に今回からは、市民文化の振興と文化行政の整備充実を図るために発足した(財)倉敷市文化振興財団が、従前の倉敷音楽祭実行委員会からその企画運営を引きつぎ、貴重な教訓と経験を十分に生かしながら、より一層市民に親しまれる音楽祭になるよう努めてまいることとなりました。

今年の公演は、市民参加による大合唱や、恒例となっている祝祭管弦楽団、ニューミュージックなど、多彩な催しを市内各所で繰り広げます。

この音楽祭が、市民一体となって盛り上がり、心と心を結び合う感動の場となりますよう心から期待し、ごあいさつといたします。

倉敷は県庁の所在地ですらない、一地方都市ですが、明治以来、常に文化の発信地であり続けました。その戦後の業績の一つ、陽春のところに毎年開かれます倉敷音楽祭も、今年で第7回を数えようとしています。

この音楽祭は倉敷音楽祭実行委員会と倉敷市が主催し、文化庁などの御支援のもとに、春の訪れに相応しい事業として市民のみなさまのご協力を得て発展して参りました。この度、従来の音楽祭の実行委員会などが母体になって、昨年5月に設立されました倉敷市文化振興財団が、その伝統を受け継いで、運営に当たることになりました。当財団は倉敷市のご支援を得て、この祭典をさらに充実しようと決意しております。市民各位のご指導、ご鞭撻を戴きたく存じます。

今年の第7回倉敷音楽祭は、N響の金管五重奏を皮切りに、市民参加による合唱オラトリオ「森の歌」の他、多様なプログラムを、9日にわたって公開いたしますが、さらに各種パフォーマンスなど、多彩な催しによって、私ども財団の幅広い活動の基盤といたす方針でございます。文化的にも豊かな倉敷実現のためにも、市民各位の御参加を心からお願いいたします。

弥生三月、倉敷の街に春の訪れを告げるかのように倉敷川畔の柳も芽吹き、立ち並ぶ蔵屋敷と掘割りとコントラストがひとときわ鮮やかに美しい景観をかもし出し、訪れる観光客にもひとしおの喜びと感動を与えてくれます。

今年で7回目を迎える倉敷音楽祭は、3月20日から9日間にわたり、美観地区をはじめ水島、児島、玉島の各地域において多彩なプログラムのもとに華やかに繰り広げられます。

特に今回から、倉敷市がかねてから標榜する夢のある倉敷にふさわしい文化構想のもとに、音楽、演劇、美術の三部門を柱とした倉敷文化の創造を目指して昨年設立された「倉敷市文化振興財団」の肝入りで取り組まれる音楽祭は、何といたってもメインイベントのひとつとして大きな期待が寄せられています。

ご承知のように倉敷音楽祭はいまや、その名も広く全国的なレベルで高く評価され、文化の街にふさわしい地域イベントとして根付いて参りましたことは誠に嬉しい限りで、ご同慶に堪えないところであります。

支援する会といたしましては、地域の関係企業をはじめ会員各位の深いご理解と力強いご支援ご協力によって、今日まで各種の支援活動を積極的に推進して参りました。

今年も音楽祭が市民ぐるみで輪を広げながら、温かいもてなしとふれ合いを通じて豊かな住みよい夢のある倉敷づくりにその一役を果たすことができますよう、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

[第7回・倉敷音楽祭]

組織役員紹介

- 主催 (財)倉敷市文化振興財団・倉敷市
- 共催 岡山県教育委員会
- 協賛 財団法人川鉄21世紀財団
三菱自動車工業株式会社
- 後援 文化庁・岡山県・岡山県郷土文化財団・朝日新聞社・岡山日日新聞社
共同通信社・倉敷新聞社・産経新聞社・山陽新聞社・中国新聞社
日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・NHK岡山放送局
岡山放送・山陽放送・瀬戸内海放送・テレビせとうち・西日本放送
音楽之友社
- 組織
- 理事長——— 三浦朱門
- 副理事長——— 勅使河原平八 藤田慎一郎
- 常務理事——— 三島一夫
- 理事——— 安藤忠雄 岩崎 淑 大野昭和斎 小池一子
杉野 廣 中田武志 村松英子 花巻景山
藤本典史 松枝 喬 三木 稔
- 監事——— 友田幸之助 山本吉章
- 顧問——— 朝比奈隆 大原謙一郎
- 客員アドバイザー—— 岩崎 洸 扇田昭彦
- 音楽プロデューサー—— 岩崎 淑
- 評議員——— 27名
- 事務局——— 事務局長 守谷 麗

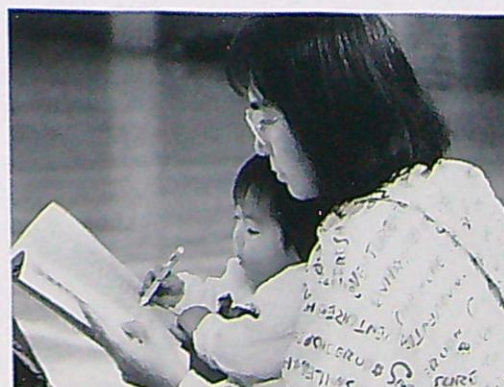
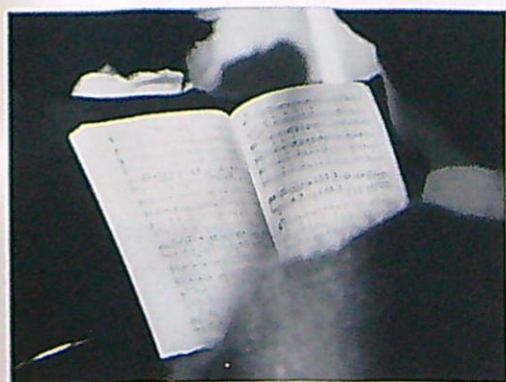
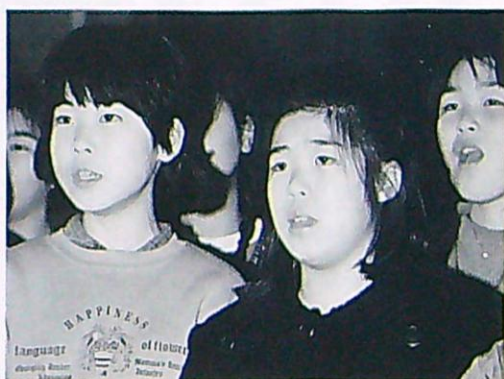
倉敷音楽祭を支援する会

- 理事長——— 鴨井利郎 顧問 平松利吉
- 副理事長——— 中嶋廣介
滝澤忠義
土倉欣一
- 常務理事——— 渡辺雅克
- 理事——— 藤本典史 藤木萬平 刑部正作 香川恭三
山本俊雄 高越敏雄 吉川一之 杉江千宏
高畠信明 国富尚司 林 弘 栗坂昌毅
大久保忠輔 仁科正己 藤川克仁 守永一彦
山本吉章 田中智春
- 監事——— 山地 勝
篠山卓郎

※ 同会は、倉敷音楽祭を市民ぐるみの音楽祭とするため、倉敷市内の企業、団体、市民で構成し、倉敷音楽祭を物心両面から支援する団体です。



Oratorio



3/20 ^土 Saturday

- 開演 18:30
- 会場 倉敷市民会館
- チケット 全席自由 500円

(プログラム)

- チャイコフスキー
幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
- ショスタコーヴィチ
オラトリオ「森の歌」

- 指揮/菊池 東
- 倉敷管弦楽団
- 倉敷音楽祭合唱団
- 倉敷音楽祭児童合唱団
- 合唱指揮 田中 浩
- 独唱/日高好一(テノール)
大原正義(バス)

「ロメオとジュリエット」の楽譜借用はトヨタ自動車ミュージックライブにお願いしました。

オラトリオ「森の歌」

幻想的序曲

「ロメオとジュリエット」

音楽祭のトップを飾るもうひとつのイベントが、倉敷管弦楽団と市民の合唱団によるコンサートです。昨年の「11びきのネコ」に続き、市民の手による音楽祭参加作品は年々、内容をグレードアップ。今年は、倉敷管弦楽団の演奏による幻想的序曲「ロメオとジュリエット」と壮大なスケールで歌いあげるオラトリオ「森の歌」に、同楽団および市民による合唱団総勢450名がチャレンジします。

幻想的序曲

「ロメオとジュリエット」

これは、ロマン派の作曲家チャイコフスキーが、友人のバラキレフの勧めによって1869年9月から11月までの間に「シエイクスピアによる幻想風序曲」として作曲したものの。時代を問わず多くの人々に愛されている永遠のラブストーリーを、ソナタ形式によりロマンチックな作品に仕上げています。

まず、修道僧ローレンスを表す宗教的な序奏に始まり、続いて短調のアレグロモントーギユ、キャピレット両家の争いを描写。そして、若い恋人たちの甘く哀しい恋。この「愛の主題」はその後、ニ長調で現れ、全曲

は二人の死によって終わります。この作品は1870年に初演されましたが、その後、2度にわたってチャイコフスキーの手で修正が加えられました。現在、演奏されているのは、初版から11年後に修正されたもの。それだけ、彼にはこの曲に対して特別の思い入れがあったのかもしれない。

世俗的オラトリオの秀作

「森の歌」

宗教的あるいは道徳的な物語をテーマに独唱、合唱、オーケストラのために作曲されたオラトリオ。今回おくりする「森の歌」は、田ソヴィエトの作曲家・ショスタコーヴィチの1949年の作品。7楽章からなり、児童合唱を含む混声合唱を主体としています。出演は、倉敷管弦楽団と倉敷市内や近隣在住の合唱団及び一般公募のオーデイションで選ばれた350人による合唱団。そして、独唱には中国二期会の日高好一氏(テノール)と大原正義氏(バス)をお迎えします。

オラトリオが生まれたのは16世紀半ば。その後、17世紀半ばはカリッシミを経て、18世紀のハイドンのころにオラトリオの水準は一気に高まりました。20世紀に入り、古典的なオラトリオの流れをくむ作品が数多く生まれる一方で、現代の特徴として登場するのが、世俗的なオラトリオ。中でも、ショスタコーヴィチの「森の歌」は、その代表作のひとつとされています。

当時、田ソヴィエトの音楽には、ロシア民族が伝統的に歌ってきた大衆歌、民謡を通して音楽をもっと大衆化すべきだという動きがありました。それが、これに込めてショスタコーヴィチが作ったのが「森の歌」。彼は、自分が育った北部ロシアの森林に対する深い愛着をもとに、祖国が第2次大戦による荒廃から復興するため、大規模な植林事業をなし遂げるといふ雄大なテーマと結びつけて、この作品を完成させたのです。

この作品のクライマックスは第6曲、第7曲。さまざまな歌のハーモニーが楽しめるだけでなく、各パートのかけあいなど音楽的にも高度なテクニクを必要とする部分が多く、男声、女声、児童とも力が入ります。

昨年10月に結団以来、忙しい合間をぬって練習を重ねてきた合唱団と倉敷管弦楽団のメンバーたちが、息のあった見事な演奏と合唱で壮大なオラトリオを歌いあげます。どうぞご期待ください。

なるほど音楽史

1

オラトリオの名曲紹介

今回演奏される「森の歌」は社会主義賛美を題材とした曲で、「世俗的オラトリオ」と分類されるように、本来のキリスト教を土台とするオラトリオとは別格に扱われています。

それでは、キリスト教世界にテーマをとった、いわば「正統派」オラトリオの名曲にはどんな曲があるのでしょうか。最もポピュラーなオラトリオとして知られているのはヘンデルの「メサイア」や、ハイドンの「天地創造」や「四季」などです。いずれも崇高な雰囲気の中にも叙情あふれる作品ですが、各作品の背景となる伝説などをちょびり勉強して聴けば、キリスト教の精神世界を知らない私たちにも、オラトリオ鑑賞の楽しみがさらに味わい深いものとなるでしょう。



倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立。バロックから現代曲までの幅広い演奏活動で、昭和57年に岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷文化連盟賞を受賞し、将来を期待されている。定期演奏会では各地で活躍中の指揮者を客演指揮者に招いたり、著名な演奏者や岡山県内で活躍中の音楽家たちと共演。また、昭和63年には瀬戸大橋開通を記念して、小六禮次郎氏作曲の交響詩「瀬戸内讃歌」を発表、平成4年には倉敷音楽祭の前夜祭でミュージカル「11びきのネコ」の大成功をおさめるなど多彩な演奏活動を続けている。

指揮



菊池 東

昭和23年倉敷市玉島に生まれる。広島大学在学中、同大学室内合奏団の指揮者、また広島交響楽団員として活躍。卒業後、東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスターなどを経験。昭和49年仲間と倉敷室内管弦楽団(現倉敷管弦楽団)を創設し、同楽団の常任指揮者として倉敷を中心に演奏会を開催、指揮を務める。また、ヴァイオリン奏者としてリサイタルや倉敷音楽協会などの演奏会で、ソロ室内楽の活動を続ける。現在、倉敷市文化振興財団評議員、倉敷音楽協会理事、玉島文化協会幹事。

合唱指導者



梶川良子 ソプラノ



藤野久美 アルト



永田桂輔 テノール



秋山 啓 バス



鈴鹿 正 児童合唱



岡田圭子 ピアニスト



玉井恵子 ピアニスト

実行委員

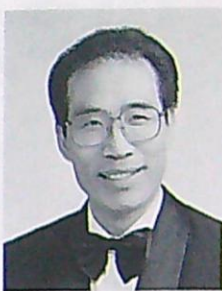
- 委員長 —— 明神宣生
- 副委員長 —— 横山真佐子 清水淑子
- 委員 —— 片岡興三 福島 茂 池田 進 原田一郎 田辺幹夫 大原久央子 横溝洋子
- 森田和美 戸叶久子 田口悦子 大島朋子

独唱



日高好一 テノール(中国二期会)

洗足学園大学専攻科終了。東京二期会合唱団に在籍後、中国二期会に移籍。オペラでは「フィガロの結婚」「蝶々夫人」等の主役を務め、合唱曲ソロでは、「第九」「メサイア」等に出演。中国二期会会員理事、イタリア声楽コンクール審査員。



大原正義 バス(中国二期会)

国立音楽大学声楽科卒業。益田遥、井上貞一の諸氏に師事。ヘンデル「メサイア」、フォーレ「レクイエム」、ベートーベン「第九」などでバリトンのソリストとして出演。オペラでは「ボギーとベス」のクラウン、「魔笛」のザラストロなど、数多くの演奏会に出演。現在、中国短期大学助教などを務める。

合唱指揮



田中 浩

岡山大学教育学部音楽科卒業。樹本辰郎、水野康孝、金光武義諸氏等に師事。コスモスコラ、川崎製鉄水島混声合唱団を指揮し、全日本合唱コンクールなどで活躍。現在、倉敷コーラルライネ団長・指揮者、倉敷男声合唱団指揮者、岡山県高等学校芸術文化連盟合唱部会委員長、岡山県立玉島高等学校勤務。

■出演者

(倉敷管弦楽団)

●第1ヴァイオリン

阿曾沼和代 飽浦良和 稲田真理 木村啓子 越宗宣子
 佐藤真理子 諏訪尚美 鳥居ゆかり 中桐佐知子 丸山博樹
 三宅美智子 山名 良 家守智子 大井孝子 鎌田 泉
 沢田博仁

●第2ヴァイオリン

岡崎良弘 大塚ゆかり 小幡文子 真田奈美 竹内律子
 樽谷美幸 友野佳代 中川貞子 中原真由美 平松鋭子
 森谷寛子 柳井典子 芦原 充 入江洋文 沖あかね

●ヴィオラ

八木原周平 長田 将 久磨晶子 須藤京子 武本克巳
 友野良一 中野隆重 新見由枝 坂 文雄 坂 昭男
 杉山みゆき

●チェロ

松江雄二 石川恵子 秋山浩美 大塚康久 黒田正典
 田中光子 ☆田辺幹夫 光延勢吾 川添孝士 友正達美
 藤川美枝 宮崎節二 山本栄子

●コントラバス

本屋敷勝信 安藤栄里子 曾我部仁和 難波由宏 難波由子
 松本高広 山口里志 岡村剛敏

●フルート

坂口充倫 坂井昌子 月本裕子

●オーボエ

細美 肇 本屋敷由紀子 佐口康晴 塚原美佳

●クラリネット

児玉史子 松本美和子 光友宏恵

●ファゴット

稲田裕彦 西 倫世 成田美穂

●ホルン

吉市幹雄 板谷信昭 小山紀章 文谷 功 佐藤量太郎

●トランペット

原田宗範 山口祐司 岡本卓也 藤原靖彦 吉田博史
 若松直也 松尾恵理子 国平貴之 水子 学

●トロンボーン

関口健一 井上雅照 神崎浩二 佐藤道郎 西岡 忠
 平松保利 山本健吾 横田征也 光井伸行

●チューバ

平田修一

●打楽器

平川敬介 福岡信夫 細美 肇 平松泰一 松浦 輝

●ハーブ

竹村知子 大林真紀 ☆印は団長

(倉敷音楽祭児童合唱団)

崎谷早苗 太田典子 原 啓 古城飛鳥 菊池大輔
 吉田利江 高橋亜由美 吉岡結子 藤野 瞳 白神 円
 上野智美 小川羽衣子 小林真衣 山野 仁 箱島希美
 岡野敦子 小原紀子 三宅好恵 三村明子 中田有紀
 山元敬子 杉岡睦子 近藤奈美 永廣まり 西村聡子
 柳沢みゆき 箱島有里子 松原静香 西村恵子 黒田裕子
 河田良子 隅田亜沙子 大仲能史 岡田敏枝 広瀬仁美
 勝木純子 藤本幸子 前田智子 荒木昌美 村上奈美
 仲達直子 三宅ゆかり 武末幸子 秋元美穂 谷山千絵
 山本恵都子 岡 千絵 岩知道恭子 石澤里子 佐々木啓
 山本結之 板野睦子 杉原範子 伊澤京子 田口展子
 大森巧資 谷原悠子 斎藤貴子 千本恭子 小野くみ子
 小川由布子 小林寛子 藤田政子 妹尾藍子 奥田知世
 野宮理沙 瀬ノ上隆介 高見春菜 平田有理江 黒宮弘代
 安田友子 白神郁子 瀬戸川梢 和田麻衣子 宇薄亜希子
 谷本奈緒子 横田幸子 奥田育子 岩谷真理 吉田巳有紀
 吉田真理子 小土井麻子 楠原恵子 星野優子 藪井由佳

(倉敷音楽祭合唱団)

●ソプラノ

岩崎綾子 西村公仁子 尼子里美 小野悦子 吉田智子
 川西由美子 西村理香 金坂千里 三宅七加 小川友美
 三宅博美 八木孝子 中原真知子 鈴鹿靖子 長崎綾子
 田中 幸 友保美代子 宮道眞己子 大隅祐子 國本典子
 向後滋子 真田彰子 平瀬玲子 永広光代 山本まさみ
 木村豊子 原田香代子 戸叶久子 大原久央子 赤沢典江
 赤沢晶子 清水淑子 橋本和子 原 秀子 古谷典子
 松三聡子 吉川順子 大垣由紀子 河原裕美 岡田圭子
 加藤祥子 山脇加代 和展展子 高瀬喜久子 寺田善恵
 難波元代 藤木淑子 藤原恵子 藤原登喜枝 三宅澄子
 八木恵子 木田裕子 栗田桂子 堀出信子 高須久美子
 吉野尚子 武鑑五十鈴 長浜由紀 前田尚子

●アルト

古屋野直美 岡崎弘恵 尾藤悦子 能登多賀子 郷原千恵美
 白神順子 西村芳枝 隅田紀美恵 藤本真弓 甲谷豊子
 片岡茂子 真田恵子 岡田恭子 大島保子 熊代美保子
 田中真澄 岩見澄子 小野典子 浜崎美穂 仲森由美江
 金地真由美 小津野章子 小川鷹子 黒川慶子 黒川利恵
 繁定 操 井上香代子 石田和女 藤井秀子 甲斐田富子
 早瀬小夜子 谷口由美子 黒木恭子 阿尻美冴 米川真佐美
 岡崎伸江 森脇芳子 河野和江 大竹光子 藤原勝代
 瀬戸美恵 山崎秀子 村中きく江 篠田祥子 北川原ミサ子
 白神真由美 岡本京子 富山一江 高尾睦子 古井良子
 宇野富美代 吉川早苗 横溝洋子 吉田しをり 吉原文子
 市川雅子 岡本幸恵 野上かね子 多田雅子 田中克子
 谷山瑞穂 内藤典子 畑 寛子 原 典子 藤原昌子
 山本由美子 大森和子 小野雅子 小野敬子 福永香織
 佐藤寛子 佐藤清子 新沼正子 板井光子 林 洋世
 川崎繁子 篠山典女 国政宏子 長谷川満寿美 松谷百合子
 森田和美 山下閑子 稲田純子 小野郁子 小谷育子
 鶴島愛子 高木啓子 高谷留美子 長屋幸子 西森令子
 守安澄子 榊原光恵 弥富郁子 横山真佐子 渡辺君子
 仁科裕子 磯部祥子 伊藤あき子 小村知子 藤田美保

●テノール

吉田 守 岡本孝志 西村彰洋 小川貴弘 林田一昭
 福島 茂 高橋峻伸 畠山裕二 平尾嘉克 石戸則孝
 宇野宏三 馬場 修 木谷 誠 木下義和 黒川正邦
 田辺省二 中西昭二 池田進一 今津博文 別府 猛
 西 功 明神宣生 横地達夫 吉田精二 広江正教
 太田誠介 吉野 茂 坂口 進 春川信行 福井留夫
 井内 修

●バス

小寺範行 田淵真弘 難波寛志 早川泰文 小野田充和
 庄司恵雄 濱本昌男 松浦 勝 宮前恭展 谷口 寿
 山本忠信 秋山宗三 天本隆士 出羽修二 加来 尚
 片岡興三 橋 洋一 辻 一雄 森脇英樹 山田正人
 阿左見和夫 伊原明芳 織田友和 甲斐田 徹 原田一郎
 福武晴夫 松下泰久 山岸幸夫 藤原豊彦 安藤大助
 飯田永久 黒田忠男 大岸真爾 中山 威 芹田勝利
 増山保雄 池上 寛 光枝一朗 田辺真一 上月 明
 江口雅一

東京駅、一〇時五八分。

「もうすぐ彼に会えるね」

わたしの腕で川崎製鉄がささやいた。

XII

III

あなたに寄りそって、そっと時刻を知らせてくれる腕時計
そのフレームやバンドづくりに活躍しているのが
川崎製鉄のメタルインジェクション。ステンレスの粉から、
精密なフレームをつくりあげるユニークな技術です
時計となって、あなたに時を告げるのも
川崎製鉄の仕事のひとつ。ほらここでも、川崎製鉄は、
あなたと一緒に暮らしているのですね

あなたにそっと一緒です。

with
川崎製鉄